

浮世絵で時代がなを学ぶ会

第1回: 自己紹介とオリエンテーション

はじめに…

感謝

ありがとうございます

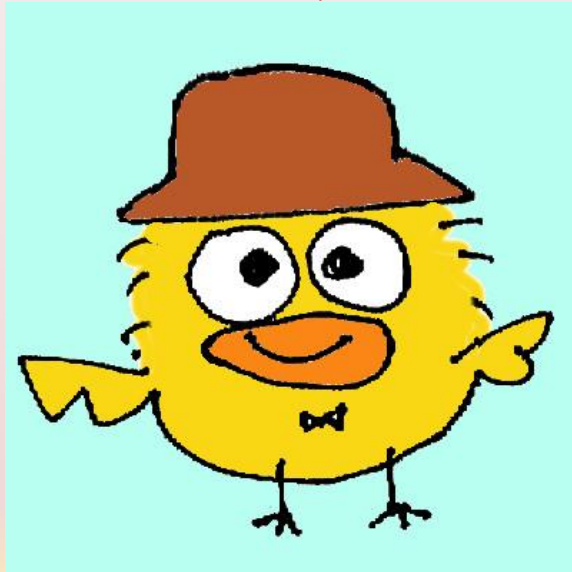
講座での三つのお願い

- ① 「先生」と呼ばないで
- ② 間違いを否定しない
- ③ 拍手で評価

続いて

自己紹介(のはらゆうこ)

よろしく
お願いします！



自画像です

出身地：熊本県

資格：生涯学習インストラクター
(古文書)

最近ハマっていること：ぬか床そだて

昔の手書き文字＝みみずののたくりの
画期的速習法を指南。

女性限定ジャズ講座も主催中です♪

つぎに...

みなさまにおひとりずつ

1分間自己紹介を

お願いいたします！

ありがとうございます。



講座内容の紹介

これから学ぶのは
令和の日本人に必要な新教養
「第二ひらがな」です

WHAT'S

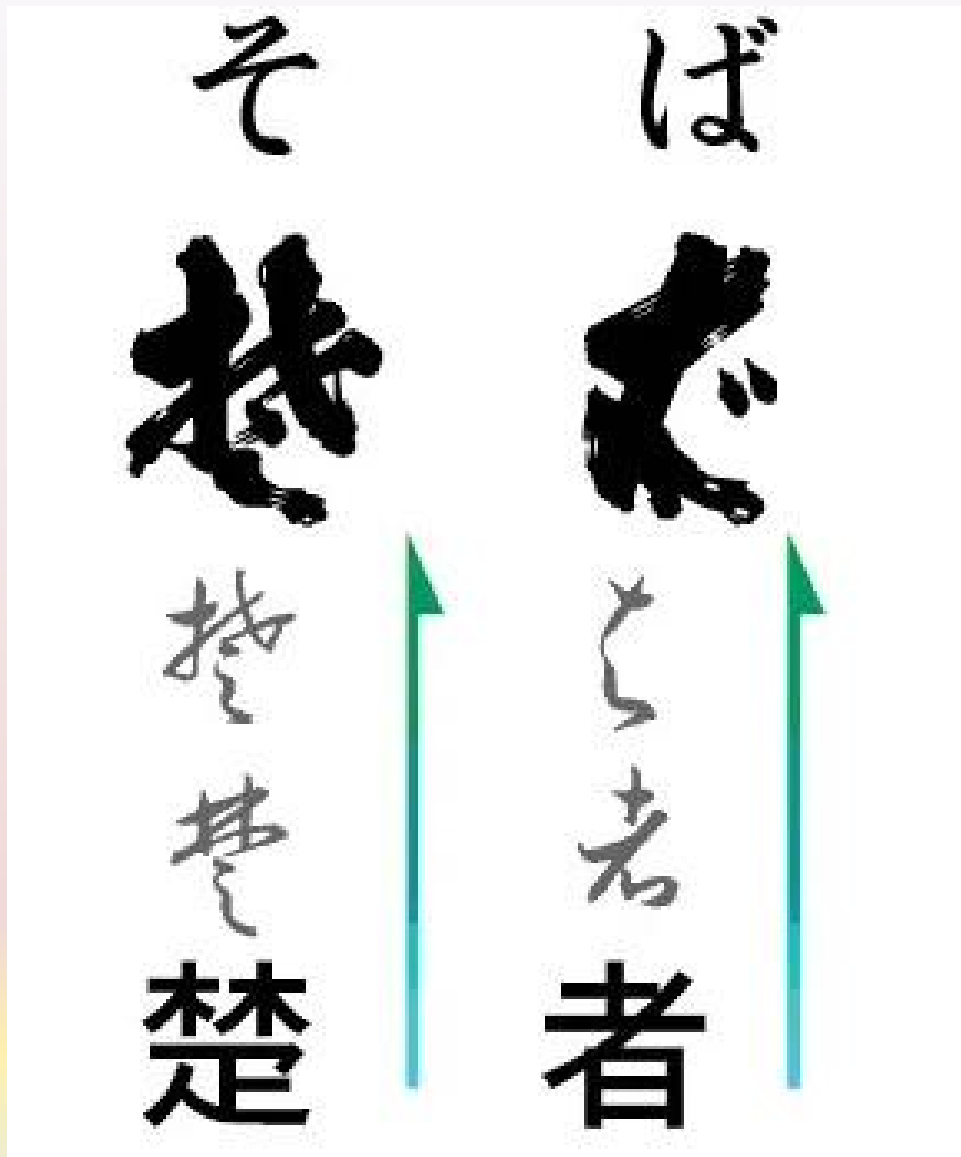
『時代がな』？

たとえば、
これが読めますか？

dicshionaly

こちらはどうでしょう？





正解は
「生(き)そば」
です

読めない、と敬遠されがちな

昔の人の手書き文字。

いったいなぜ「読めない」のか、

考えてみたことがありますか？

実は最大の原因のひとつは
国語で教えられていない
ひらがなの別バージョン。

戦前までの日本人の書いたものには、
漢字のいわゆる「くずし」とともに、

漢字を母字とした複数の

「別字体ひらがな」

が混在しています。

昔の日本人が書いたものや、木版など
出版された文書を読みたい、と
思ったら…まずは

別字体ひらがなの攻略

がとても大切です。

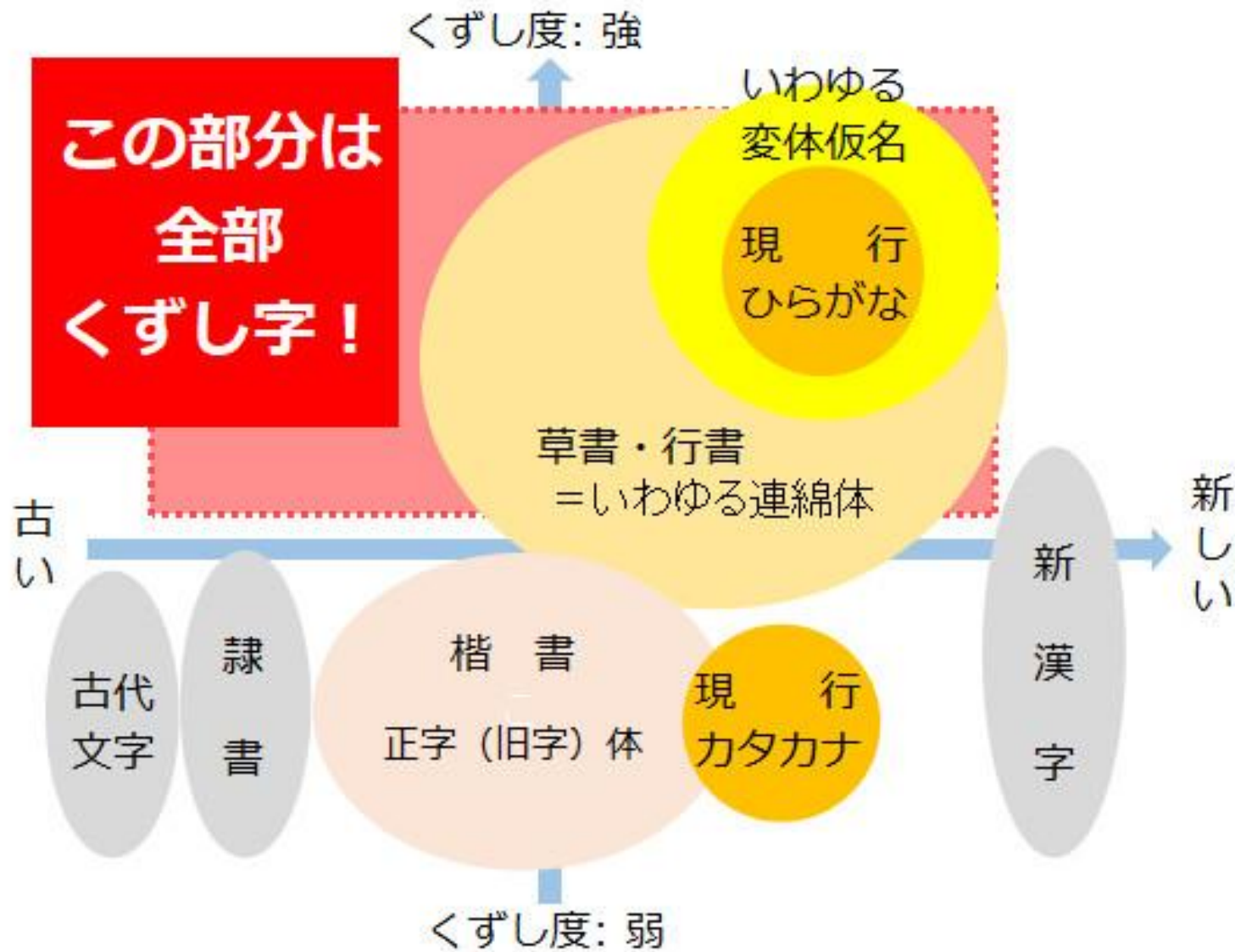


このような
字を自由に
読めるように
なりましょう
(^▽^)

「くずし字」「変体がな」「江戸かな」
と呼ばず

時代がな

とりネームした理由



現行のひらがなは、歴史的なくずし字の一種。

そもそも
ひらがなは全部
くずし字で、
別字体ひらがな
だけを
サベツするのは
おかしい!

変体がな

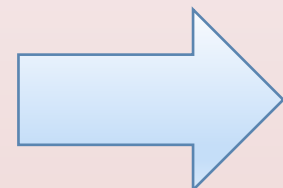
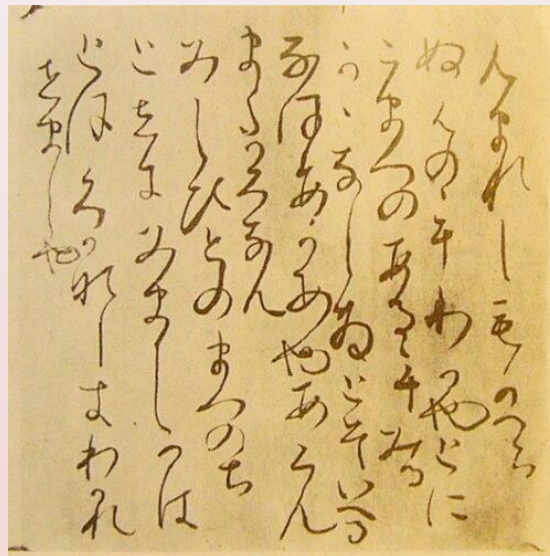
BAD IMAGE



BAD IMAGE

は…誤解されやすい

江戸かな



平安から一般化。江戸、ではない

右は経閣文庫所蔵『土佐日記』(1235年書写) 藤原定家臨書の部分。国宝。

時代がな

名づけの理由: 時代劇が好きだから

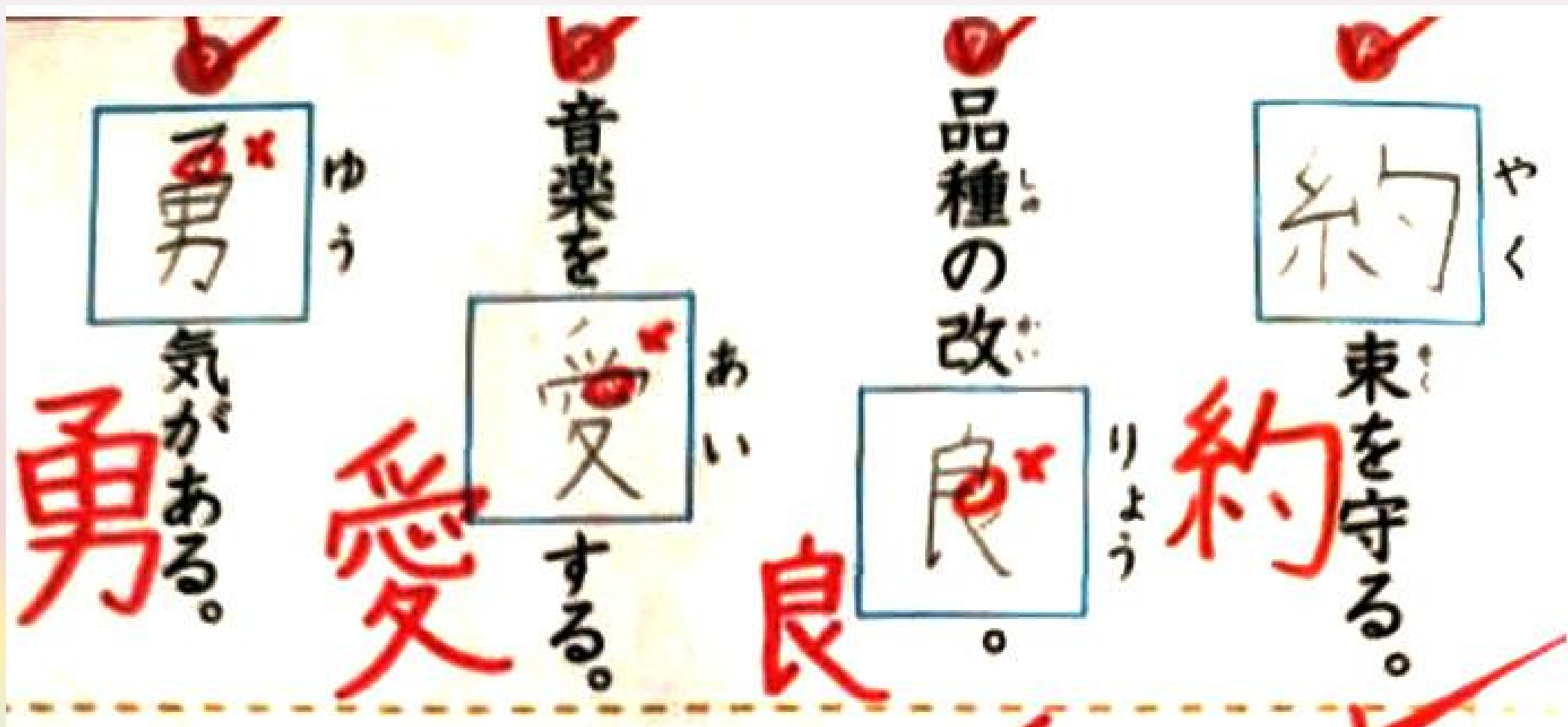


そもそも日本の国語教育は

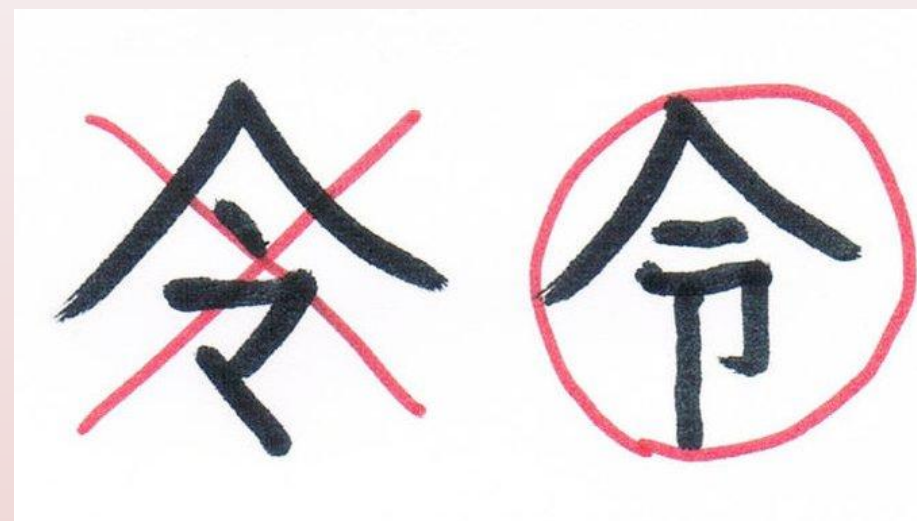
ちよつとおかしい

と思う理由

漢字の書き取りが厳しすぎる！



令和の「令」も、本来の書き文字では 「山にマ」が正しいのに…



左だと役所ではねられる例もあるとか

鈴木さんの災難

8月18日 金曜日

窓口に問題になりやすい漢字

明朝体の例	手書き文字の例	明朝体の例	手書き文字の例
鈴	鈴	幸	幸
言	言	奏	奏
均	均	邦	邦
麗	麗	西	西
真	真	花	花
直	直	松	松
美	美美	牙	牙

鈴 「マ」の上に点の形は要注意

西 5画目終筆の「はね」が問題

麗 「鹿」の上の点二つポイント

窓口に書き直し求められやすい漢字は、

「S編」
それ調べます

（東有咲）

21 社会

令和5年(2023年)8月18日 金曜日

窓口に明朝体 鈴 言 均 麗 真 直 美

「それ、調べます」

出生届「鈴」書き直した記憶

18年前 天草市「今はない」

を求めることはないという。天草市では現在「令」や「鈴」のようにデザインが導く同一漢字はもちろん、書き方の癖などで疑問が生じる漢字は、出生届朝体の漢字も記載し、提出者に求めることはないという。

市民課は「出生届はお子さんのお名前を最初に申請するもの。あとから『聞いていなかった』とならないように特に丁寧な説明を心がけている」とした。

（東有咲）

18年前、出生届に記入して書き直しを求められたという楷書体の「鈴」。女性に再現してもらった=天草市

（東有咲）

昨日には複数の読者から、黄、実際に自治体の窓口で漢字の書き直しを求められた」という体験が寄せられた。

そのうちの1人、天草市の会社員女性（41）は18年前、娘の出生届を当時の木津市役所（現・天草市役所）に提出する際、名前の「鈴」の「マ」の部分に「マ」のしこ点を打った楷書体で書いていた。すると窓口で「この漢字では口籍としての登録ができない」と言われ、書き直した記憶があるという。この体験から、娘の名前の漢字を教える時や小中高校の卒業証書の漢字調査では明朝体の「鈴」の形で統一させた。

天草市市民課によると、合併前でもあり18年前の記録は残っていません。実際に突き直したかどうかは確認できなかった。ただ、少なくとも現在は書き直し

漢字の「正しい筆順」は絶対ではない

朝日新聞 EduA 新聞で学ぶ 人気記事 連載 イベント お知らせ 朝日新聞教育ポータル

入試・受験 教育と学習

HOME > 教育と学習 > 漢字の「正しい筆順」存在しないのに... 教科書に掲載、入試に出題されることも

漢字学習 どこまで必要？

漢字の「正しい筆順」存在しないのに... 教科書に掲載、入試に出題されることも

勉強法 © 2022.03.15

葉山 梢



以上をもって、提言したいこと

**「読み」の教育を
もっと手厚く！**

**国語教育の「読み」は、
もっと手厚くしないと
ひと世代前の戦前の手紙さえ
解読できなくなります。
逆に「書き」のルールは
もっと自由で良い。
他の人が読めさえすればOK。**

浪漫/ロマン

洋杖/ステッキ

馬尻 /バケツ

読めさえすれば
いいんじゃない?

五月蠅い・蒼蠅い/
うるさい



国語教育で別字体ひらがなを

子どもに教えなく

なった意外な理由

実は

ひらがなを「一音一文字」で教える
よう旧文部省がおふれを出したのは、
明治三十三年(1900年)のこと。
日本人の手書き文字として
「一音一文字」が定着したのは、
昭和も戦後になってからです。

その理由は、初等教育の簡素化に加えて、明治政府が**国土の拡張**をめざしていたから。



あらたに獲得した外地に住む領民に、日本語を教えやすくするためです。

すでに、時代は令和！

**第二ひらがな = 時代がなを学ぶことで
過去とのきずなを再構築し、次の世代
へと伝えていきましょう。**

と、いうわけで。



このような
字を自由に
読めるように
なりましょう
(^▽^)

これから半年の間、
浮世絵などいろいろな資料を見ながら、
たのしく時代がなを
学んでいただければ
幸いです。



ご挨拶 おわり。